

平成29年度  
「新潟県コンクリート診断士会」通常総会

ほんぽーと新潟市立中央図書館（3F 多目的ホール）

平成29年7月6日（木）

平成 29 年度

## 「新潟県コンクリート診断士会」 通常総会次第

平成 29 年 7 月 6 日 (木)  
ほんぽーと新潟市立中央図書館

### 【総 会】(3 階 多目的ホール 14:00~14:45)

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議 事  
第 1 号議案 平成 28 年度事業報告並びに収支決算承認の件  
第 2 号議案 平成 29 年度事業計画並びに収支予算決定の件  
第 3 号議案 会則の一部改定の件
5. その他報告事項  
・日本コンクリート診断士会総会報告(本田副会長)
6. 閉 会

### 【講演会】(3 階 多目的ホール 15:00~16:45)

「福井県コンクリート診断士会の取組みと福井県の維持管理の現状」

(15 時~16 時)

講師 福井県コンクリート診断士会 会長 石川 裕夏様

「ストパネ工法について」

(16 時~16 時 30 分)

講師 新潟県コンクリート診断士会 小林 秀一会員

質疑応答

(16 時 30 分~16 時 45 分)

### 【懇 親 会】(会場: +3 (プラスサード) 17:15~18:45)

住所 新潟市中央区東大通 1-1-1 第 5 マルカビル 3F (旧三越ブラザービル)

tel 025-253-3435

会費 4,000 円

懇親会会場  
プラスサード



新潟県コンクリート診断士会 ホームページアドレス

<http://www.geocities.jp/niigatakon/>

事務局 (株)クリエイトセンター内 遠藤

TEL: 025-232-7121 FAX: 025-232-7130

E-mail endou@ngk-center.co.jp

入会金・年会費振込み先

第四銀行 白山支店 新潟県コンクリート診断士会

事務局 遠藤 潤 口座番号 1633148

# 「新潟県コンクリート診断士会」

## 平成28年度 事業報告書

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日

### 1. 事業の概況

新潟県コンクリート診断士会は、平成20年10月の設立以来、講演会や技術セミナー等によるコンクリート診断技術の向上や会員同士の親睦ならびに診断士会情報発信等の広報活動に努めてきた。これらの結果、現状における会員数は120余名・賛助法人18団体の大きな組織となった。

平成28年度は、一般財団法人新潟県建設技術センターの助成を受け、新潟県におけるコンクリート構造物の塩害に関わる現地研修会や技術セミナー他を開催し、道路橋等の塩害状況や社会情勢を踏まえた診断技術の現状と課題、コンクリート診断士の果たすべき役割についての認識を深めるとともにこれまで蓄積した技術資料を冊子にとりまとめた。

また、新潟県土木部主催の技術研修会への講師派遣等による積極的なPR活動を行った。

### 2. 会員数の推移

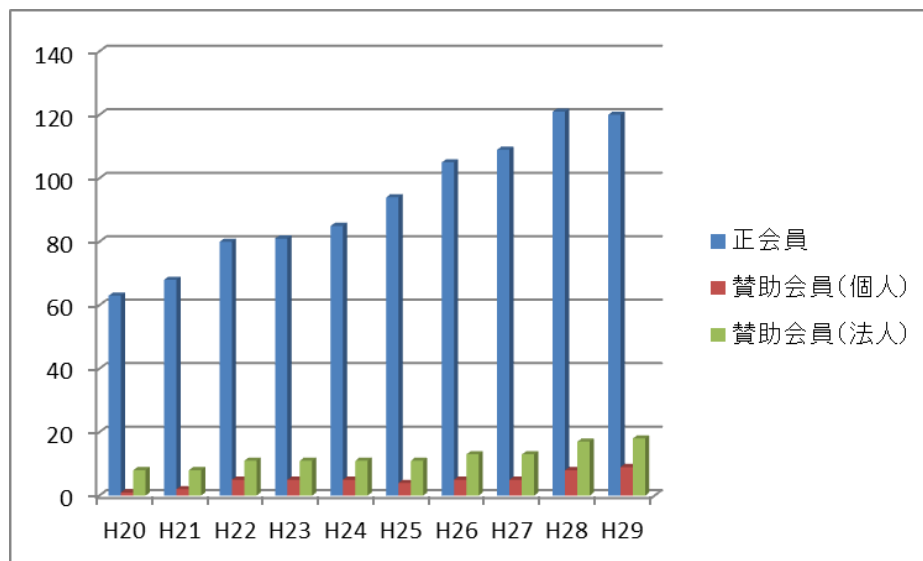


図-1 会員数の推移 (総会開催時人数)

#### 【現会員数 (平成29年7月6日現在)】

正会員	120名
賛助会員(個人)	8名
賛助会員(法人等)	18団体

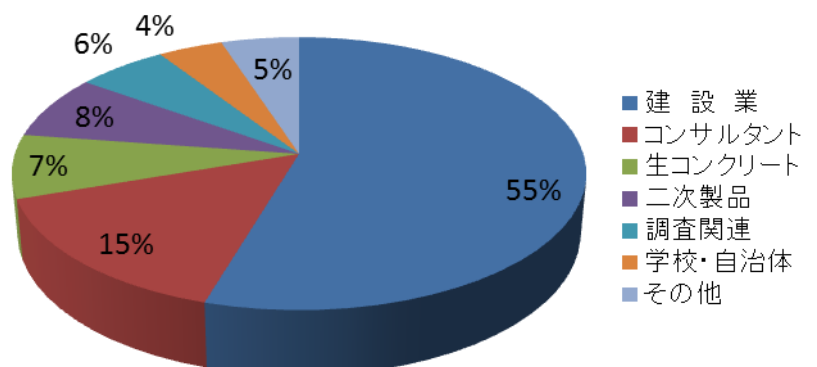


図-2 正会員の業種別構成比

表-1 設立からの主な活動の記録

年度	種別	月日	講演他
平成 20 年	設立総会	10 月 31 日	「コンクリート診断士の現状と将来」 長岡技術科学大学教授 丸山様
	技術セミナー	2 月 3 日	「コンクリートあれこれ」 新潟工科大学教授 地濃様 「補修工法及び補修材料」「診断事例」 外部講師
平成 21 年	通常総会	6 月 18 日	「中越地震と中越沖地震における RC 学校建物の挙動について」 新潟大学教授 加藤様
	技術セミナー	10 月 23 日	「塩害環境を測る」 新潟大学教授 佐伯様
	技術セミナー	2 月 10 日	「コンクリート構造物の維持管理」 長岡技術科学大学教授 下村様 「新潟県の道路施設管理」 新潟県土木部道路管理課 町屋課長補佐 「最近の構造物診断技術」 外部講師
平成 22 年	通常総会	6 月 10 日	「耐震補強壁における乾燥収縮ひびわれ対策の試み」 長岡工業高等専門学校教授 岩波様
	臨時総会	10 月 7 日	「コンクリートのひびわれについて」 新潟工科大学教授 地濃様 「 ” ” 」 長岡技術科学大学教授 丸山様
	現場見学会	11 月 1~2 日	国道 8 号線沿線橋梁の塩害状況・柏崎刈羽原子力発電所
平成 23 年	通常総会	7 月 7 日	「東日本大震災の被災状況」 長岡技術科学大学教授 丸山様
	技術セミナー	12 月 1 日	「北陸地方の損傷橋梁の現状と対応」 北陸地方整備局 平賀様 「NEXCO 東日本におけるコンクリート構造物の現状と対策」 西川様 「コンクリート構造物の長寿命化の課題」 (パネルディスカッション)
平成 24 年	通常総会	7 月 5 日	「イタリアにおける歴史的建築物と現在の共生」 建築家 鳴沢様
	現場見学会	9 月 25 日	関越自動車道橋梁補修現場
平成 25 年	通常総会	7 月 4 日	「インフラの老朽化を考える」 新潟県土木部道路管理課 土田様他
	技術セミナー	12 月 3 日	「全国のコンクリート診断士会の動向」 セメントジャーナル社吉田様 「コンクリート構造物の変状」 伊藤副会長 「インフラの老朽化を考える (パート II)」 (パネルディスカッション)
平成 26 年	通常総会	7 月 8 日	「コンクリート工学における分析技術の確立」 (株)土木管理総合試験所 所長 星野様
	技術セミナー	10 月 17 日	「コンクリートと診断」 新潟工科大学教授 地濃様 「人間身体、五感の話」 広瀬歯科医院長 広瀬様 「コンクリート診断技術のこれまで・これから」 (パネルディスカッション)
	現場研修会	11 月 18 日	国道 113 号胎内橋・藤村橋の現地視察及び意見交換
平成 27 年	通常総会	6 月 25 日	「コンクリートの塩分拡散係数について」他 新潟大学教授 佐伯様
	実務者報告会	12 月 3 日	第一部 (調査・試験・設計部門) 2 報告 新潟県コンクリート診断士会会員 第二部 (施工部門) 2 報告 新潟県コンクリート診断士会会員
平成 28 年	通常総会	6 月 27 日	「社会資本の長寿命化対策」 国土交通省 水管理・国土保全局 森岡様
	現場研修会	8 月 30 日 11 月 15 日	第 1 回 村上新発田地区 国道 345 号沿線のコンクリート建物等の視察 第 2 回 糸魚川地区 国道 8 号沿線のコンクリート道路橋の視察
	技術セミナー	10 月 28 日 2 月 24 日	第 1 回 現地研修会の結果報告及び意見交換 本田副会長 第 2 回 塩分吸着剤を活用した断面修復 ジェイアール総研 鳥取様 インフラ施設の維持管理に関する新材料及び新工法 丸山副会長

### 3. 会議他開催状況

#### (1) 通常総会 (出席会員数 86 名※) ※委任状での出席を含む

・平成 28 年 6 月 27 日・・・ほんぽーと新潟市立中央図書館

主な議題 平成 27 年度事業報告・平成 28 年度事業計画の承認・その他

#### (2) 役員・幹事会

① 平成 28 年 6 月 15 日・・・新潟県生コンクリート工業組合

主な議題 平成 27 年度事業総括・平成 28 年度事業計画案策定他

② 平成 28 年 7 月 14 日・・・新潟県生コンクリート工業組合

主な議題 平成 28 年度総会総括、第 1 回現地研修会計画他

- ③ 平成 28 年 9 月 14 日・・・新潟県生コンクリート工業組合  
主な議題 第 1 回現地研修会総括、第 1 回技術セミナーの計画他
- ④ 平成 28 年 12 月 21 日・・・(株)クリエイトセンター  
主な議題 第 2 回現地研修会総括 第 2 回技術セミナーの計画他
- ⑤ 平成 29 年 1 月 18 日・・・(株)クリエイトセンター  
主な議題 第 2 回技術セミナー準備 H28 年度活動の総括他

#### 4. 講演会・技術セミナー・現地研修会開催状況

##### (1) 講演会・技術セミナー

- ① 日時：平成 28 年 6 月 27 日（月）  
会場：ほんぼーと新潟市立中図書館 3 階多目的ホール  
演題：「社会資本の長寿命化対策」  
講師：森岡弘道氏（国土交通省・災害調査官）  
聴講者：新潟県コンクリート診断士会会員他 73 名
  
- ② 日時：平成 28 年 10 月 28 日（月）  
会場：ほんぼーと新潟市立中図書館 3 階多目的ホール  
第 1 部：村上・新発田地区現地研修会報告及び意見交換 報告・司会 本田副会長  
第 2 部：シンポジウム コーディネーター 地濃会長  
テーマ「知覚に基づく鉄筋コンクリート構造物の老朽化に関する診断技術」  
参加者：新潟県コンクリート診断士会会員他 43 名
  
- ③ 日時：平成 29 年 2 月 24 日（金）  
会場：ほんぼーと新潟市立中図書館 3 階多目的ホール  
第 1 部：糸魚川地区現地研修会報告及び意見交換 報告・司会 本田副会長  
第 2 部：技術講演会  
演題：「塩分吸着剤を活用した断面修復」  
講師：鳥取誠一氏（ジェイアール総研・防災技術部長）  
演題：「インフラ施設の維持管理に関する新材料及び新工法」  
講師：丸山 聡氏（ダイアテック・代表取締役）  
参加者：新潟県コンクリート診断士会会員他 54 名

##### (2) 現地研修会

- ① 村上・新発田地区  
日時：平成 28 年 8 月 30 日（火）  
対象施設：国道 345 号沿線のコンクリート建物等  
参加者：新潟県コンクリート診断士会会員他 27 名
  
- ② 糸魚川地区  
日時：平成 28 年 11 月 15 日（火）  
対象施設：国道 8 号沿線のコンクリート道路橋  
参加者：新潟県コンクリート診断士会会員他 17 名

## 5. その他活動

### (1) 地濃会長退官記念祝賀会の開催

- ・月 日 : 平成 28 年 4 月 27 日
- ・会 場 : 越後 まる松
- ・参加者 : 役員・幹事他 15 名

### (2) 新潟県土木部主催技術研修会への講師派遣

- ・月 日 : 平成 28 年 8 月 19 日
- ・会 場 : 新潟県庁自治研修所
- ・演 題 : より良いコンクリートを打つために (施工技術の要点)
- ・講 師 : 新潟県コンクリート診断士会 (株ダイアテック) 柳 益夫会員

### (3) 新潟県建設技術センター主催技術セミナーへの講師派遣

- ・月 日 : 上越会場 平成 28 年 11 月 1 日 (火)  
新潟会場 平成 28 年 11 月 2 日 (水)
- ・演 題 : 新潟発 コンクリート構造物の長寿命化に向けて
- ・講 師 : 新潟県コンクリート診断士会 (水倉組) 本田 明副会長

### (4) 「新潟発! コンクリート工学の発展に資する会 2016」の共催

- ・月 日 : 平成28年8月26日 (金)  
講演会 16:00~17:50 場所: 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」  
祝賀会 18:00~20:00 場所: ホテルラングウッド新潟(プラーカ1-4F)  
※丸山久一先生の J C I 会長就任祝賀会 (CEG 研究会、メンテナンス協会との共催)

### (5) 外部勉強会・講習会等への参加

- ・平成 28 年 4 月 21 日  
「平成 28 年 4 月度コンクリート技術講習会」への参加  
主催: (株)プロダクト技研
- ・平成 28 年 6 月 24 日  
「平成 28 年度 生コンクリート勉強会」への参加  
主催: 三蒲地区生コンクリート協同組合
- ・平成 28 年 9 月 16 日  
「橋梁技術講習会」への参加  
会場: ガレソホール  
主催: 建設コンサルタンツ協会 北陸支部

### (6) 既往技術資料を取りまとめた冊子の発刊

「新潟県におけるコンクリート構造物の塩害に関する技術資料集」  
一般財団法人新潟県建設技術センター助成事業の一環として 50 部作成

### (7) 親睦行事の開催

- ・平成 28 年 10 月 19 日  
第 4 回 新潟県コンクリート診断士親睦コンペの開催  
場 所: 中条ゴルフクラブ  
参加者: 12 名

## 【平成 28 年度収支決算書】

収入の部	会費収入	正会員	3,000×121	363,000 円
		賛助会員（個人）	3,000× 8	24,000 円
		賛助会員（法人等）	10,000× 17	170,000 円
	入会金収入	正会員・賛助会員	1,000× 13	13,000 円
	新潟県建設技術センター助成金			
前年度繰越金				288,461 円
<b>収入の部合計</b>				<b>1,149,913 円</b>

支出の部	総会費	（会場費・講師旅費他）	147,341 円	
	セミナー関連費	（会場費・講師旅費他）	69,180 円	
	現場研修会関連費	（中型バス賃料他）	213,860 円	
				（助成対象金額 211,172 円）※
	部会活動費	（技術部会・広報部会活動費）	217,230 円	
	関係団体負担金	（日本コンクリート診断士会会費）	97,498 円	
	広報費	（新聞広告費他）	68,276 円	
	通信・交通費	（活動旅費他）	27,510 円	
	事務・会議費	（コピー代・備品購入費）	53,566 円	
	製本・印刷費	（技術資料冊子印刷）	125,280 円 ※	
	設立 10 周年記念事業積立金			100,000 円
<b>支出の部合計</b>			<b>1,119,741 円</b>	
			（助成対象金額合計 336,452 円）	

**次年度繰越金** 1,149,913 円 - 1,119,741 円 = **30,172 円**  
 設立 10 周年記念事業積立金計 (H27・H28 積立) **200,000 円**


# 監 査 意 見 書

平成 28 年度決算について、出納簿、その他の証憑書類を照合精査したところ、正確なものと認めます。

平成 29 年 5 月 13 日

新潟県コンクリート診断士会

会計監事

牧 岳 修 



# 「新潟県コンクリート診断士会」

## 平成29年度 事業計画書(案)

### 【活動計画】

新潟県コンクリート診断士会は、「コンクリート診断士」の社会的地位の向上、及び「コンクリート診断士」によるコンクリート診断技術の普及と向上に努めることにより、社会全体の健全な発展に大きく寄与することを目的とし、平成29年度は、以下の事業活動を行う。

なお、事業の推進に当っては、技術部会・広報部会においてそれぞれの役割分担に応じた活動を積極的に行い内容の充実を図るものとする。

また、本年度は昨年度に引き続き一般財団法人新潟県建設技術センターの研究事業助成金（添付資料-1）の活用により事業内容を更に拡大・充実させるとともに、平成30年に開催予定の会設立10周年記念事業の計画と準備を進めるものとする。

#### 1. 通常総会の開催

平成29年7月6日（木）

#### 2. コンクリート診断に関わる知識、技術、文化の向上に資するための事業

➤ 講演会の開催（1回）

予定時期：平成29年7月6日（通常総会開催後）

➤ 技術セミナーの開催（1回）

予定時期：平成29年12月頃

➤ 現場研修会の開催（2回、下越地区・中越地区のアルカリ骨材反応の生じた構造物視察他）

予定時期：平成29年8月・平成29年11月頃

#### 3. コンクリート診断士の社会的地位の向上及び地域社会の健全な発展に寄与するための事業

➤ 関係自治体他への研修会講師派遣

➤ 国土交通省北陸整備局、新潟県及び県内市町村等への当会と診断士制度活用のためのPR強化

#### 4. その他

➤ 会員及び日本コンクリート診断士からの情報や賛助会員（法人等）とのリンクを貼る等によるホームページの充実、会員への情報伝達の円滑化

➤ 会設立10周年に向けた記念事業（平成30年開催予定）の計画・準備

## 【予算計画】

収入の部	会費収入	正会員	3,000×125	375,000円
		賛助会員（個人）	3,000×8	24,000円
		賛助会員（法人等）	10,000×18	180,000円
	入会金収入	正会員・賛助会員	1,000×8	8,000円
	新潟県建設技術センター助成金			350,000円
	前年度繰越金			30,172円
収入の部合計				967,172円
支出の部	総会費	（会場費・講師旅費他）		100,000円
	セミナー関連費	（会場費・講師旅費他）		100,000円
	現場研修会関連費	（マイクロバス賃料他）		200,000円
	部会活動費	（技術部会・広報部会活動費）		100,000円
	関係団体負担金	（日本コンクリート診断士会会費）		100,000円
	広報費	（新聞広告費他）		70,000円
	通信・交通費	（活動旅費他）		30,000円
	事務・会議費	（コピー代・備品購入費）		50,000円
	製本・印刷費			100,000円
	設立10周年記念事業積立金			100,000円
	予備費			17,172円
	支出の部合計			

## 第3号議案資料

### 第6章 会計

#### 第16条（入会金）

本会の入会金は1,000円とし、入会時に納入するものとする。なお、他地区の診断士会会員が住居移転等により当会に入会する場合は入会金を免除する。

#### 第17条（会費）

本会の年会費は次のとおりとし、各会計年度当初に納めなければならない。会費は原則として指定する口座を利用し、振り込みに要する費用は会員個人が負担する。ただし、本会の運営上、役員会が必要と認めた場合は臨時総会で承認を得て臨時会費を徴収することができる。納入した会費はどのような事情があっても払い戻ししない。

正会員	3,000円/年
賛助会員（個人）	3,000円/年
賛助会員（法人等）	10,000円/年

#### 第18条（会計年度）

本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

#### 第19条（決算）

本会の決算は、毎会計年度終了後、速やかに決算書を事務局が作成し、会計監事の監査を経て、総会の承認を受けなければならない。

※ 会則の一部抜粋 赤字は改定箇所

## 事業の内容

申請者名 (所属/代表者名)	新潟県コンクリート診断士会/本田明
申請事業名	アルカリ骨材反応に起因するコンクリート構造物の劣化に関する診断技術の向上と知識普及活動
<p><b>1. 背景や必要性</b></p> <p>新潟県コンクリート診断士会は、平成20年10月の設立以降、コンクリート構造物の診断技術の向上及び維持管理に関わる知識普及を通じた「地域社会の健全な発展」を目的とし、会員からの会費を財源に県内学術経験者（6名）の指導を得て活動している。現在、会員数は110余名で全国のコンクリート診断士会のなかでは東京・北海道に次ぐ規模の会となっている。</p> <p>本県のコンクリート構造物は、県内特有の気候・風土の影響を受け極めて厳しい環境下にあり、塩害・凍害・アルカリ骨材反応及びそれらの複合劣化は、本県特有の劣化事象である。</p> <p>その対策（事前・事後保全）のためには診断及び維持管理体制を産・学・官の連携で構築すると共に、会員の知識や技術力を補完し有効活用することが急務となっている。</p> <p>本活動は、コンクリート構造物の診断・維持管理に関して、会員の更なる技術力の向上と診断技術者の育成、県内技術関係者（発注者含む）への知識普及を図るための活動である。</p>	
<p><b>2. 申請事業の内容とその特徴</b></p> <p>県内におけるコンクリート構造物の各種劣化事象を把握するため、今回はアルカリ骨材反応に起因した劣化を視察し、現地における解説とその場で意見交換を行い、次いで後日の技術セミナーで取りまとめて会員および行政関係者等への知識普及を図る。</p> <p>なお、本会ではコンクリート構造物の劣化現象等に関わる技術セミナー・現場見学会・講演会をこれまで多数開催し、北陸地方整備局・新潟県・新潟市の関係者にもご参加頂いている。</p> <p>また、新潟県道路管理課や建設技術センター等の主催するコンクリートの劣化事象や診断・補修技術などに関わる研修会に講師を派遣し知識普及に努めている。</p> <p>本事業は、これらの活動を更に拡大・充実するとともにこれまで蓄積した講演会や研修会の資料等を取りまとめ公開したいと考えている。</p>	
<p><b>3. 実施スケジュール</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 平成29年 6月：技術講演会（社会資本の長寿命化対策などをテーマとした講演会）</li> <li>➤ 平成29年 7月：見学会（その1）（アルカリ骨材反応による劣化事象・下越地域の橋梁等）</li> <li>➤ 平成29年11月：見学会（その2）（同上・中越地区の橋梁等）</li> <li>➤ 平成29年12月：技術セミナー（上記見学会で把握された劣化事象を下に技術的意見交換）</li> </ul>	
<p><b>4. 期待される具体的な成果（地域等への波及効果）</b></p> <p>本県特有な気候・風土に支配されるコンクリート構造物の劣化事象を把握し、その診断技術や基礎資料を共有することにより、本会会員の診断技術の向上はもとより広く県・市町村関係者への知識普及に寄与することができる。すなわち、本県特有なコンクリート構造物の劣化事象に対して、それぞれの地域に見合った適切な対応策を図ることができ、「地域社会の健全な発展」への波及効果が期待できる。</p>	
<p><b>5. 成果の活用</b></p> <p>以下に示す①～③に利活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①コンクリート構造物の長寿命化対策への基礎資料</li> <li>②コンクリート構造物の維持管理、補修・補強指針、カルテ作成への基礎資料</li> <li>③コンクリート構造物の補修・補強に関わる新技術・新工法の開発資料</li> </ul>	
<p><b>6. 他の補助金等の有無（該当するものに■）</b></p> <p><input type="checkbox"/>有      <input checked="" type="checkbox"/>無</p>	